

| | |
|-------------|-----------------------|
| タイトル | 思いがけない救世主 |
| ポーランド語のタイトル | Nieoczekiwany wybawca |
| テーマ * | d |
| 名前 | バルトツシュ ノボポルスキ |
| ポーランド語の名前 | Bartosz Nowopolski |
| 学校名 * 2 | ヤギェロン大学 |
| 学年 | 修士課程の1年生 |
| 日本滞在歴 | なし |

皆さん、動物が好きでしょうか。ペットを飼っていますか。僕はいつもどうして人間は動物を飼っているか不思議に思っていました。いったい何のためか。養う口が一つ増えるだけだと思います。

姉は18歳の誕生日の祝いに友達から犬をもらいました。家族はみんなびっくりしました。何のことわりもなく、犬をプレゼントとしてくれるなんて、その友達は無責任きわまる！でも、姉は本当に犬を飼いたかったので、結局両親が手を上げました。僕だけ最後まで反対しました。

犬は生後わずか数ヶ月でした。だから、何時も目を放せないし、散歩させたり、洗ったり掃除したりしなきゃいけなかったんです。一晩中ほえ続けていたり。散歩もしなきゃいけないし、高級なヘッドホンのケーブルは噛み切るし、いいことが一つもない。

この大変な状態が続くどころか、さらに悪くなりました。犬は病気になったんです。それから、犬のため、特別の料理を作ったり、高い薬を買ったり、獣医さんに通ったりする状態になりました。お金がなくて、病気の母は、体を壊してまでも働き続けました。僕にとって犬はとても面倒くさくなりました。こんな犬、何の役にも立たないと思いました。

「キャン、キャン」「キャン、キャン」ある日、真夜中、犬の大きい鳴き声で目が覚めました。犬は僕にほえました。「まったく。。。」僕はしかたなく起きました。犬は僕を母の部屋に導き、母のベッドのそばでほえました。母はそこに倒れていました。意識がもうろうとしていたので、もう時間がないと思いました。すぐに救急車を呼びました。幸いに大事には至らず母は数日あと家に帰りました。

あの時からオジと僕はお互い特別な存在になりました。オジは犬の名前です。一緒にすごした時間のおかげで、僕は本当に明るく、やさしくなれました。犬の世話をしたおかげで、責任も学びました。いつもシャイだった僕は、愛情を表せるようになりました。オジは僕という人間を変えてくれたのです。あの恐ろしい夜、オジなしに母はなくなっていたかもしれません。以前はペットが恩人になるなんて考えられませんでした。オジは僕と母と二人の人間を救ってくれたのです。今より人に優しくなりたい皆さん、ペットを飼ってははどうでしょうか？

Podsumowanie

Zawsze uważałem, że hodowanie zwierząt domowych jest bez sensu i się po prostu nie opłaca. Nie rozumiałem, skąd bierze się sympatia ludzi do zwierząt. Moja starsza siostra dostała na swoje 18. urodziny w prezencie psa. Nie mogłem się przyzwyczaić do obecności zwierzęcia w domu, ale kiedy uratował moją mamę przed śmiercią, moje podejście do zwierząt kompletnie się zmieniło. Dzięki wspólnym zabawom z psem stałem się o wiele pogodniejszym człowiekiem, nauczyłem się odpowiedzialności i zrozumiałem, ile radości może dać opieka nad zwierzęciem.